

人と動物との共生推進に関するアンケート 結果報告書

令和8年6月
柏 市

目次

1章 調査の概要	1
1.調査の目的	2
2.調査の方法.....	2
3.調査票の回収状況	2
4.標本の誤差.....	3
5.調査結果を見る上での注意事項.....	3
2章 調査結果	4
1.調査対象者の属性	5
2.各質問項目の結果	8
3章 自由記入回答.....	22
1.回答状況	23
2.回答内容	23

1章 調査の概要

本章では、調査の対象者や抽出方法、回収結果など、どのように調査を実施したかについて掲載しています。

1.調査の目的

動物愛護に関する市民の課題認識や現状を調査し、動物愛護施策を推進するための計画づくりに活かすことを目的としています。

2.調査の方法

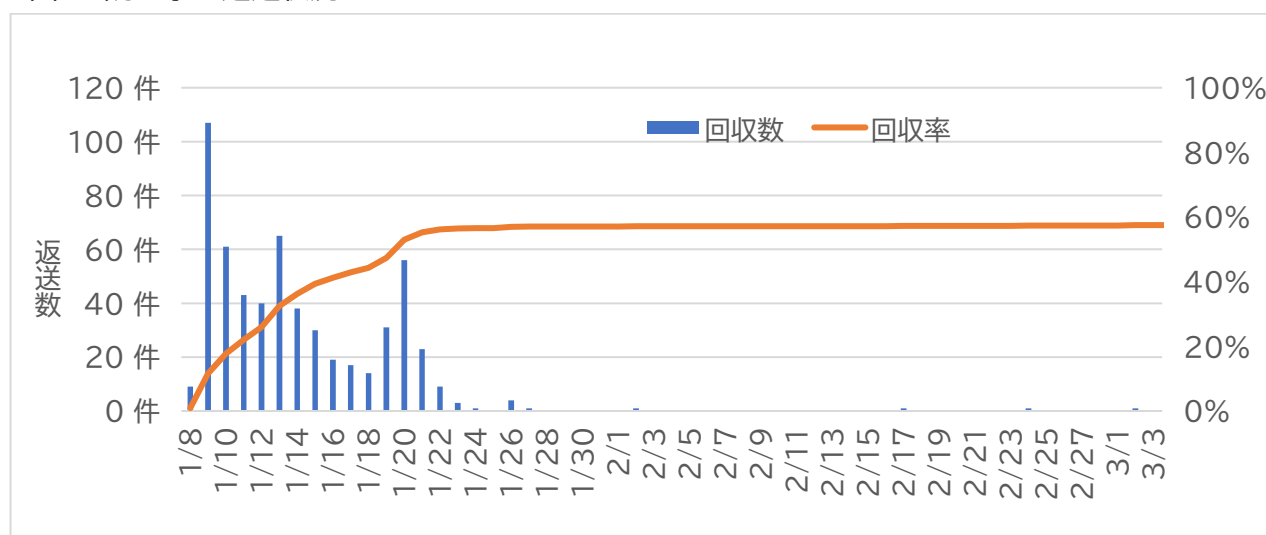
調査対象者 : 柏市在住の満 18 歳以上の市民
抽出名簿 : 住民基本台帳(2025(令和7)年12月12日現在)
標本抽出法 : 層化系統抽出
調査期間 : 2026(令和8)年1月6日(火)～1月20日(火)
※集計対象は3月2日(月)到着分まで
調査手法 : 郵送による配布・回収

3.調査票の回収状況

3.1 返送状況

調査票の返送状況について、図1は消印の日付から調査票の返送状況を示したものです。

図 1 調査票の返送状況



3.2 回収結果

表1 全体の回収結果

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
1,000 通	575 通	575 通	57.5%

4. 標本の誤差

この調査の標本誤差は、次式によって得られます。ただし、信頼区間は95%としています。

(注) 信頼区間95%とは、同じ調査を100回実施したときに、そのうち95回は母集団の平均が標本誤差の範囲に収まることを示す。

$$SE = 1.96 \times \sqrt{\frac{p(1-p)}{n}}$$

SE: 標本誤差(95%) p: 回答比率 n: 標本数

上式を基に、本調査の標本誤差の早見表を以下に示しています。

回答比率 (p) 標本数 (n)	10%または 90%	20%または 80%	30%または 70%	40%または 60%	50%
2,000	1.3%	1.8%	2.0%	2.1%	2.2%
1,600	1.5%	2.0%	2.2%	2.4%	2.5%
1,000	1.9%	2.5%	2.8%	3.0%	3.1%
400	2.9%	3.9%	4.5%	4.8%	4.9%

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する有効回答者数です。
- ・調査結果の数値は回答率(%)で示しています。％の母数は、その設問の回答対象人数です。
- ・百分率(%)の計算は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせても100%にならない場合があります。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい設問)においては、％の合計が100%を超える場合があります。
- ・回答者数(n)が 30 未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るための参考値となります。

2章 調査結果

本章では、各質問ごとに集計した結果をグラフとともに掲載しています。

1.調査対象者の属性

調査票の質問順とは異なりますが、はじめに本調査における回答者の属性を掲載します。

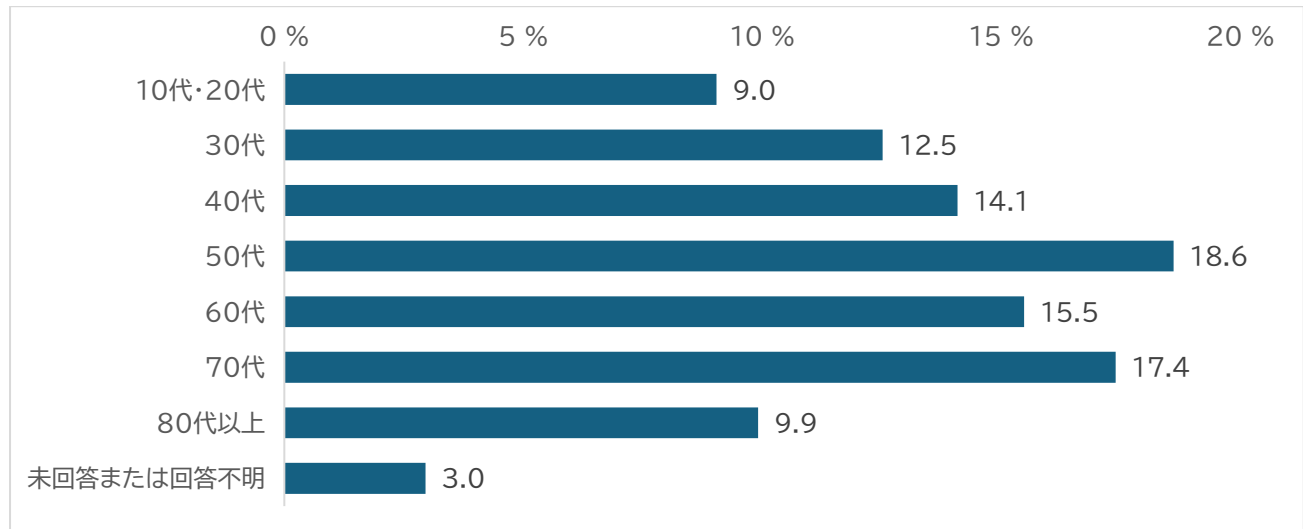
Q32.あなたの家の郵便番号を教えてください。

地域	北部	中央	南部	東部	不明	合計
人数	119	196	104	53	103	575
計画標本	261	398	221	120	—	1,000
回収率	45.6%	49.2%	47.1%	44.2%	—	57.5%

(参考)各地域の構成

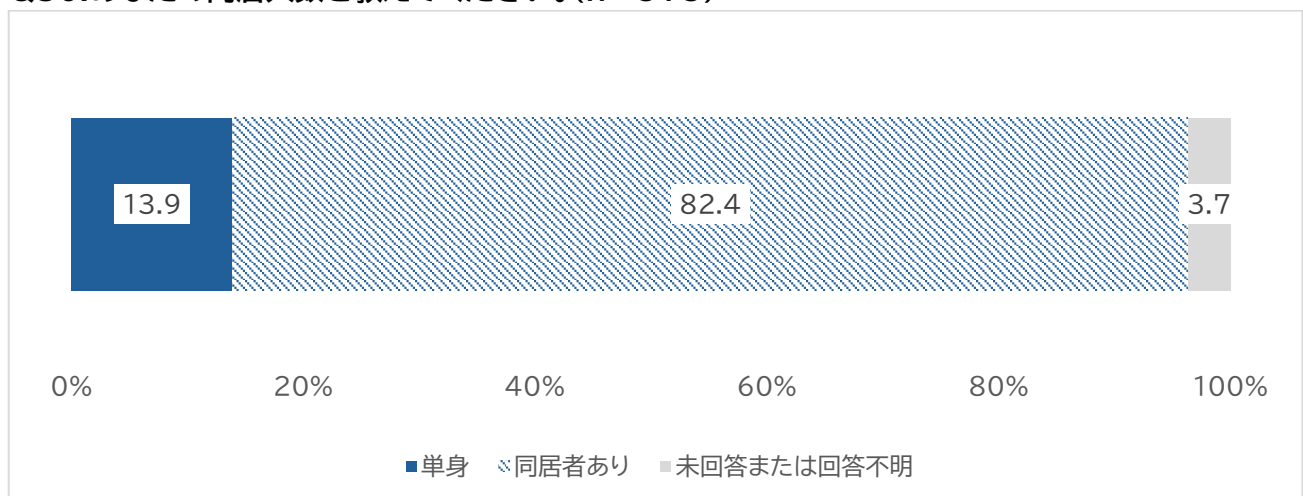
地域名	大字(町名)
中央	緑ヶ丘、弥生町、明原、末広町、豊平町、豊町、豊上町、豊住、豊四季台、豊四季、富里、八幡町、柏下、柏、日立台、南柏中央、南柏、東柏、東台本町、東上町、東、中央町、中央、大塚町、大山台、泉町、千代田、西町、新富町、常盤台、松ヶ崎、若葉町、篠籠田、桜台、今谷南町、今谷上町、高田、向原町、戸張、吉野沢、亀甲台町、関場町、永楽台、旭町、ひばりが丘、かやの町、あけぼの、あかね町
北部	北柏台、北柏、布施新町、布施下、布施、柏堀之内新田、柏の葉、柏インター南、柏インター東、中十余二、大青田、大室、船戸山高野、船戸、青田新田飛地、西柏台、西原、正連寺、松葉町、松ヶ崎新田、小青田、宿連寺、十余二、若柴、根戸新田、根戸、呼塚新田、花野井、伊勢原、みどり台
南部	名戸ヶ谷、南増尾、南逆井、藤心、東中新宿、東山、東逆井、中新宿、中原、増尾台、増尾、青葉台、西山、新柏、新逆井、酒井根、光ヶ丘団地、光ヶ丘、逆井藤ノ台、逆井、加賀、つくしが丘
東部	鷲野谷、緑台、柳戸、箕輪新田、箕輪、片山、布瀬、南高柳、藤ヶ谷新田、藤ヶ谷、塚崎、大島田、大津ヶ丘、大井、染井入新田、泉、手賀新田、手賀の杜、手賀、若白毛、高柳新田、高柳、高南台、五條谷、金山、岩井、しいの木台

Q29.あなたの年代を教えてください。(n=575)



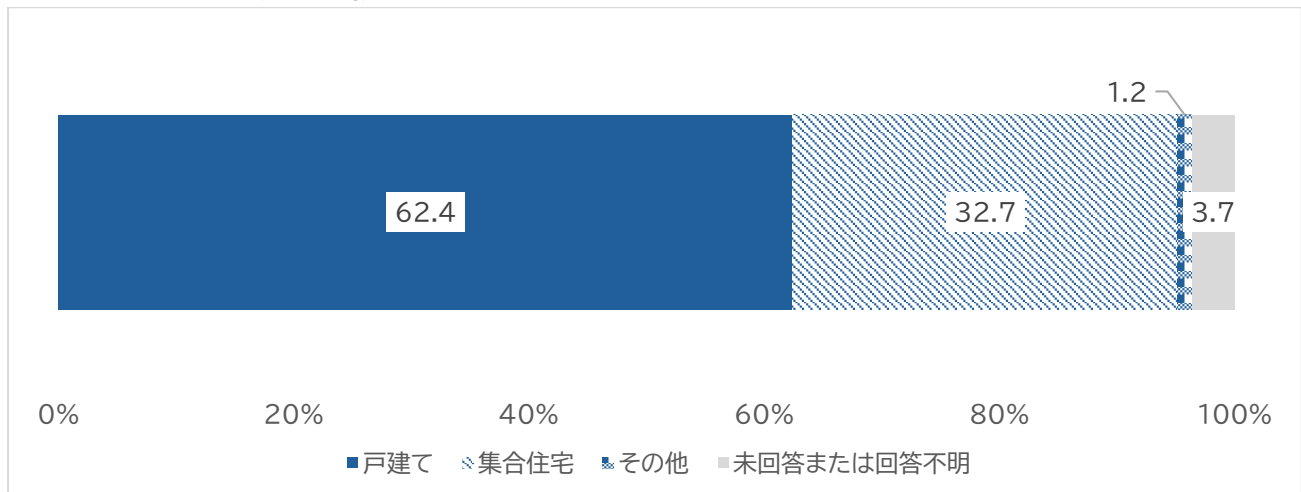
回答者の年代は、10代・20代が9%、30代が12.5%、40代が14.1%、50代が18.6%、60代が15.5%、70代が17.4%、80代以上が9.9%、未回答または回答不明が3.0%となっています。

Q30.あなたの同居人数を教えてください。(n=575)



同居人数については、単身が13.9%、同居者ありが82.4%、未回答または回答不明が3.7%となっています。

Q31.あなたの居住形態を教えてください。(n=575)



戸建てが 62.4%, 集合住宅が 32.7%, その他が 1.2%, 未回答または回答不明が 3.7%となっています。

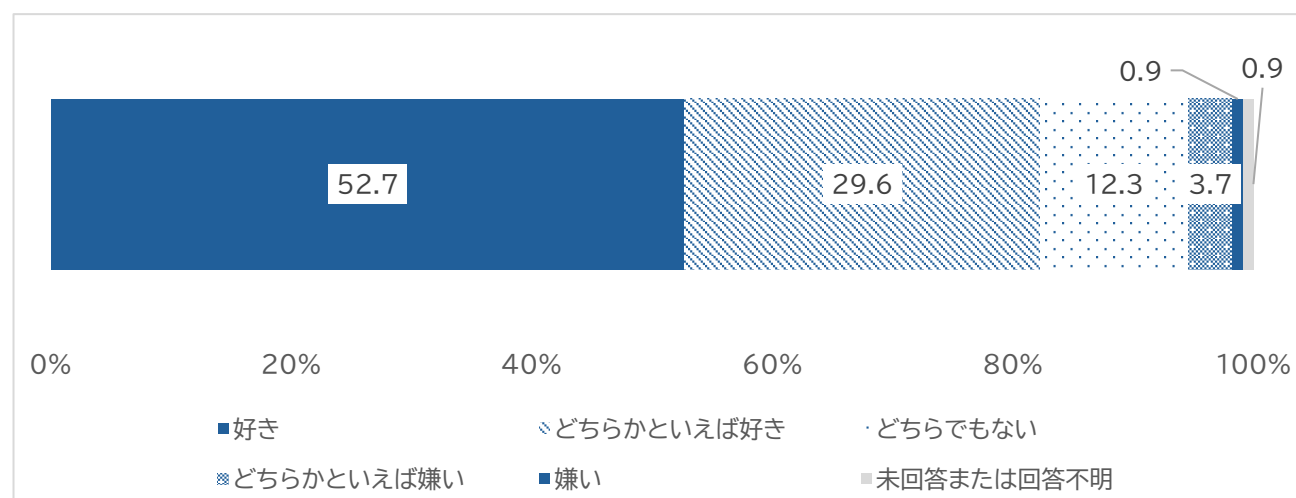
2.各質問項目の結果

ここからは各質問項目についての結果の概要を示します。

なお、選択肢において、回答対象者でないにも関わらず回答している、その他の回答と整合性が取れない回答(犬を飼っていると答えているが、猫の飼育者対象の設問のみ回答している等)は、「回答不明」としてカウントしています。

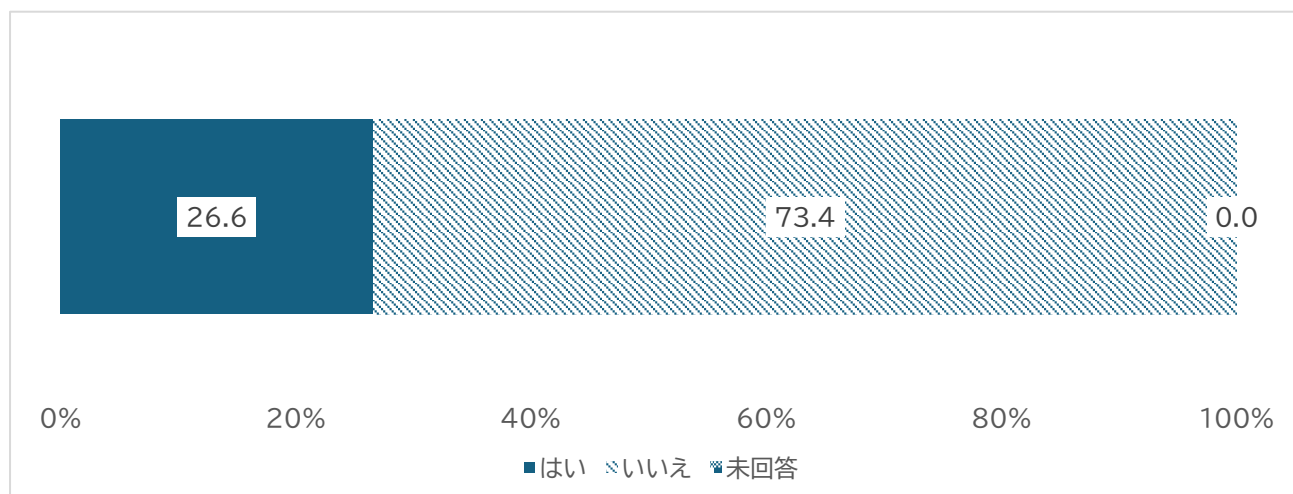
■ すべての方に対する設問

Q1.動物が好きですか。(n=575)



「動物が好き」が 52.7%, 「どちらかといえば好き」が 29.6% となり, 「好き」または「どちらかといえば好き」が併せて 82.3% となりました。「どちらでもない」は 12.3%, 「どちらかといえば嫌い」が 3.7%, 「嫌い」は 0.9%, 「未回答または回答不明」が 0.9% となり, 「嫌い」または「どちらかといえば嫌い」が併せて 4.6% となっています。

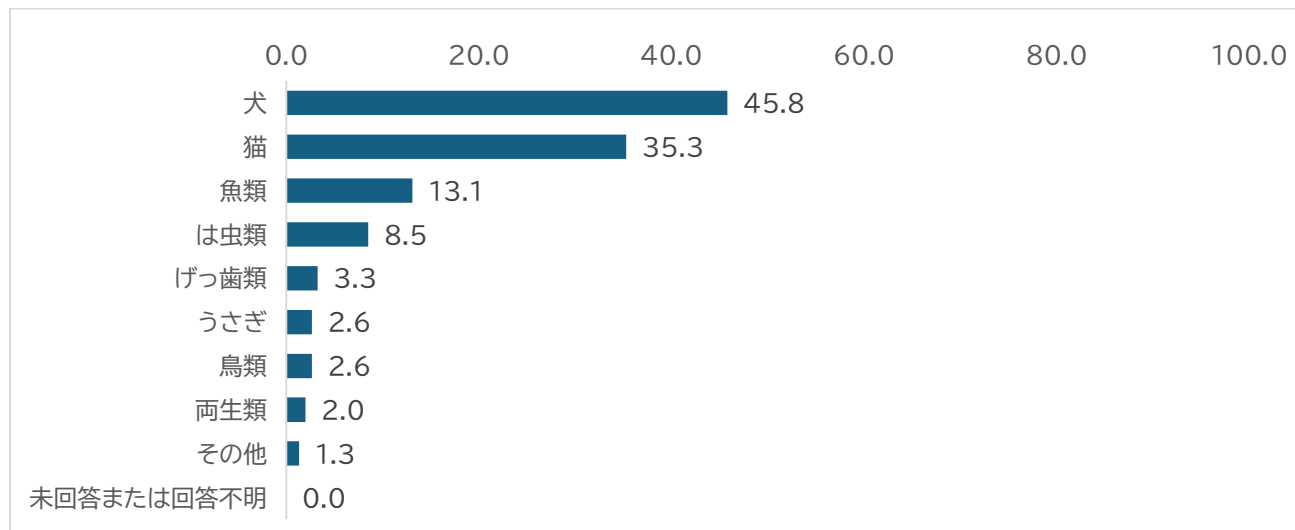
Q2.ペットを飼っていますか。(n=575)



ペットを飼っていることを示す「はい」が 26.6%, ペットを飼っていないことを示す「いいえ」が 73.4%, 「未回答または回答不明」が 0% となっています。

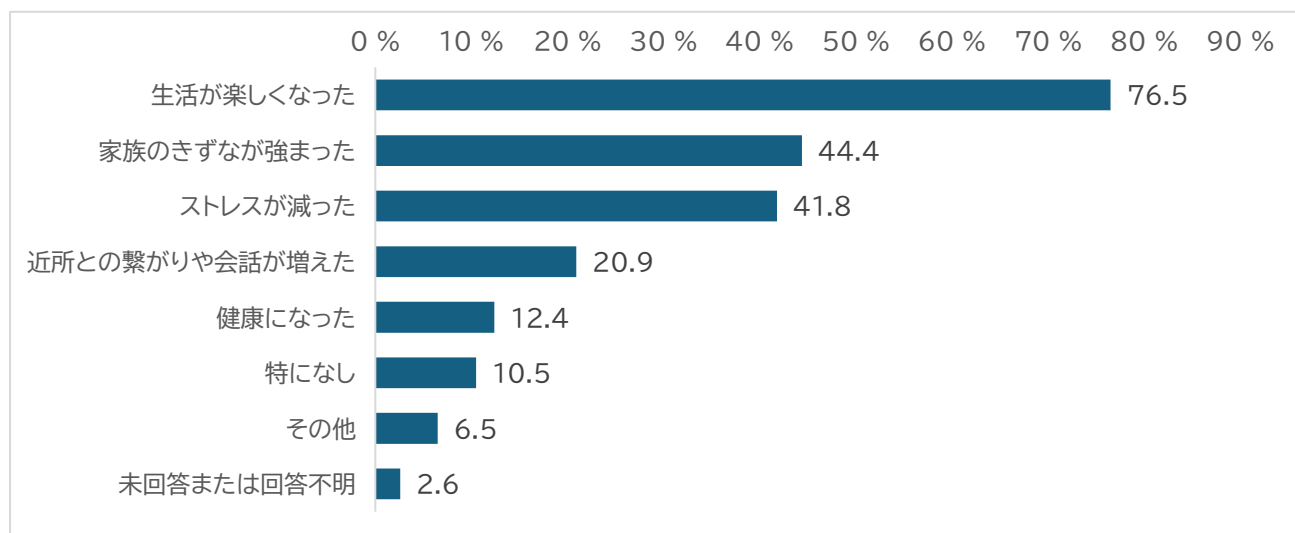
■ ペットを飼っている方に対する設問

Q3.現在飼っているペットはなんですか。(当てはまるものをすべて選択)(n=153)



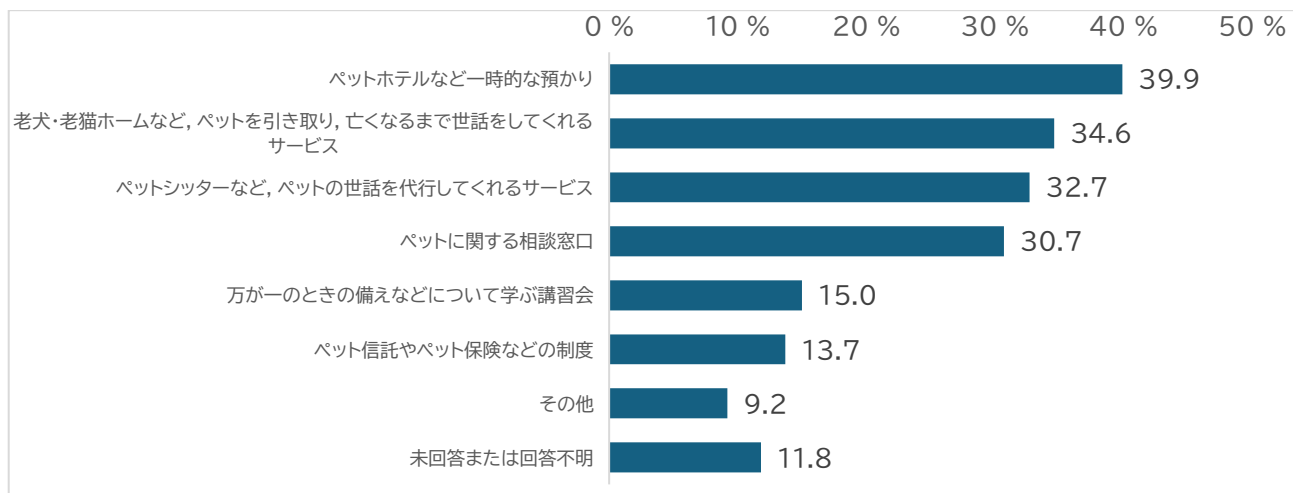
飼っているペットとしては、「犬」が 45.8%、「猫」が 35.3%、「魚類」が 13.1%、「は虫類」が 8.5%、「げっ歯類」が 3.3%、「うさぎ」が 2.6%、「鳥類」が 2.6%、「両生類」が 2.0%、「その他」が 1.3%、「未回答または回答不明」が 0%となっています。「その他」の具体例としては、クワガタ、ハリネズミといった回答がありました。

Q4.ペットを飼って良かったことはなんですか。(当てはまるものをすべて選択)(n=153)



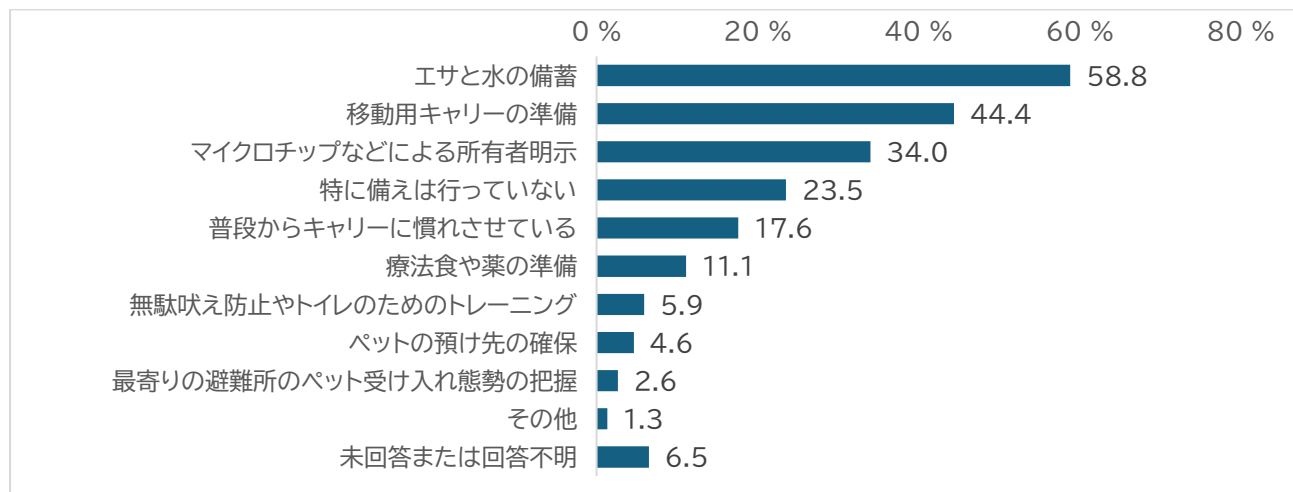
ペットを飼って良かったこととしては、「生活が楽しくなった」が 76.5%、「家族のきずなが強まった」が 44.4%、「ストレスが減った」が 41.8%、「近所との繋がりがや会話が增进了」が 20.9%、「健康になった」が 12.4%、「特になし」が 10.5%、「その他」が 6.5%、「未回答または回答不明」が 2.6%となっています。「その他」の具体例としては、癒される、子供が命の大切さを学ぶことができているといった回答がありました。

Q5.健康上または生活上の事情でペットの世話が困難になった場合、利用したいと思うサービスはなんですか。(当てはまるものを3つまで選択)(n=153)



ペットの世話が困難になった場合、利用したいサービスについては、「ペットホテルなど一時的な預かり」が 39.9%、「老犬・老猫ホームなど、ペットを引き取り亡くなるまで世話をしてくれるサービス」が 34.6%、「ペットシッターなど、ペットの世話を代行してくれるサービス」が 32.7%、「ペットに関する相談窓口」が 30.7%、「万が一のときの備えなどについて学ぶ講習会」が 15.0%、「ペット信託やペット保険などの制度」が 13.7%、「その他」が 9.2%、「未回答または回答不明」が 11.8%となっています。「その他」の具体例としては、親族に頼む、心配はないといった回答がありました。

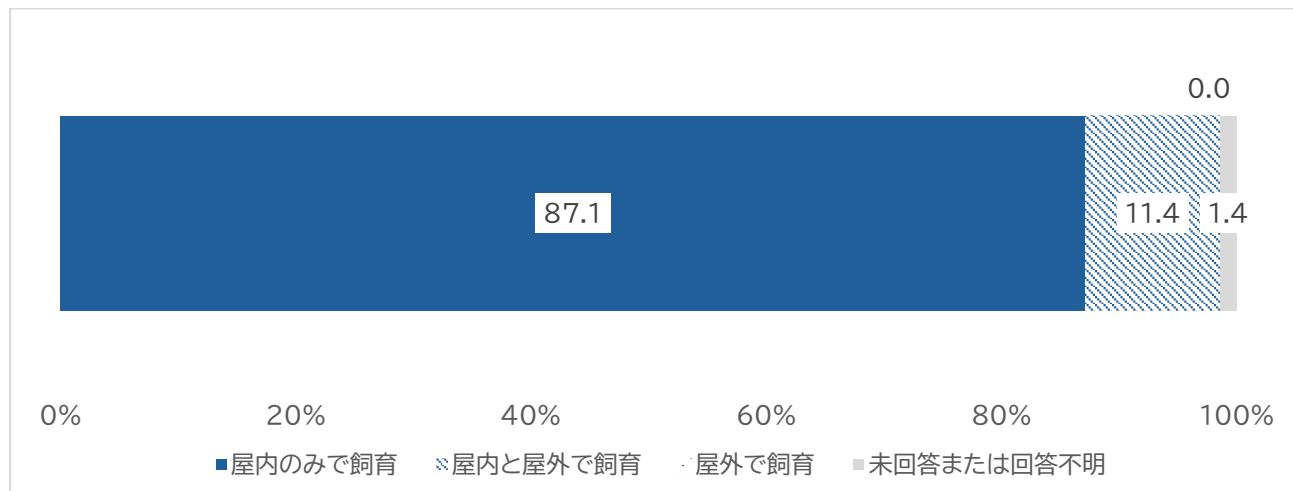
Q6.ペットのための防災対策として備えをしていますか。(当てはまるものをすべて選択)(n=153)



ペットのための防災対策としては、「エサと水の備蓄」が 58.8%、「移動用キャリーの準備」が 44.4%、「マイクロチップなどによる所有者明示」が 34.0%、「特に備えは行っていない」が 23.5%、「普段からキャリーに慣れさせている」が 17.6%、「療法食や薬の準備」が 11.1%、「無駄吠え防止やトイレのためのトレーニング」が 5.9%、「ペットの預け先の確保」が 4.6%、「最寄りの避難所のペット受け入れ態勢の把握」が 2.6%、「その他」が 1.3%、「未回答または回答不明」が 6.5%となっています。「その他」の具体例としては、自宅待機などの回答がありました。

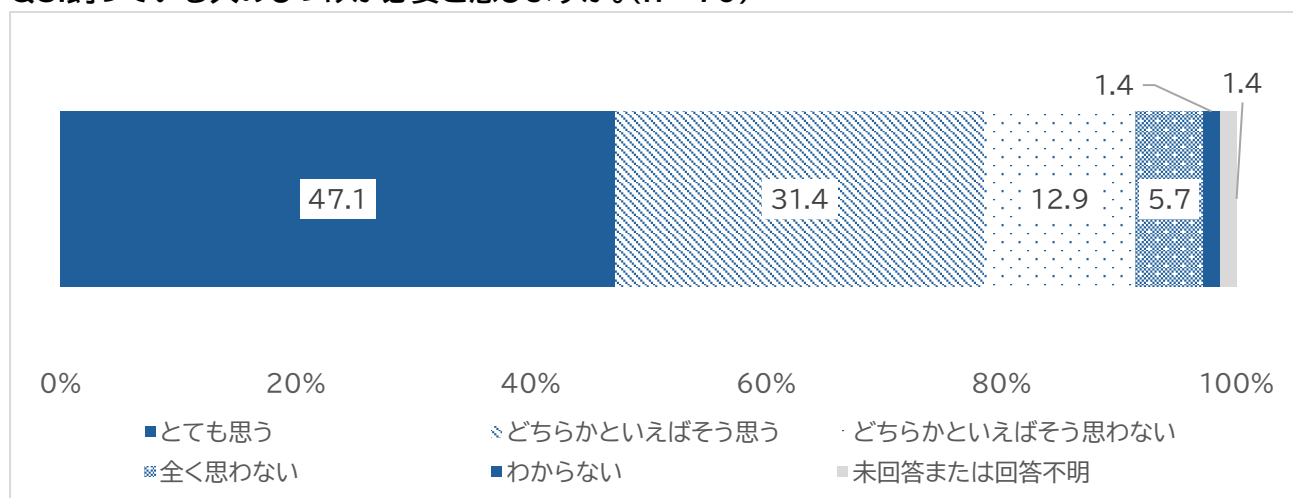
■ 犬を飼っている方への設問

Q7.飼っている犬の飼育場所はどこですか。(n=70)



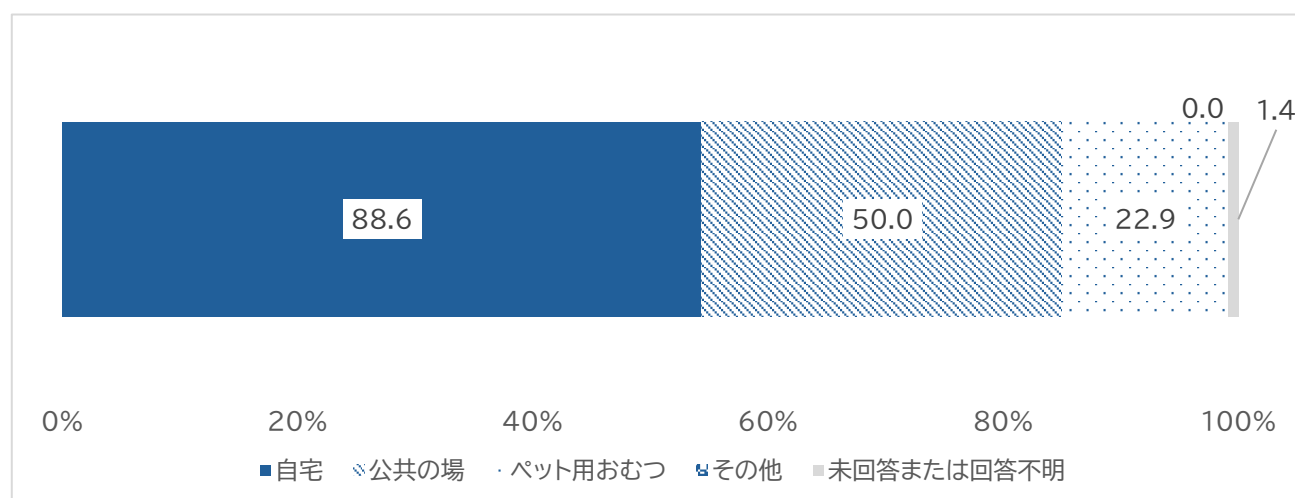
犬の飼育場所は「屋内のみで飼育」が 87.1%,「屋内と屋外で飼育」が 11.4%,「屋外で飼育」が0%,「未回答または回答不明」が 1.4%となっています。

Q8.飼っている犬のしつけが必要と感じますか。(n=70)



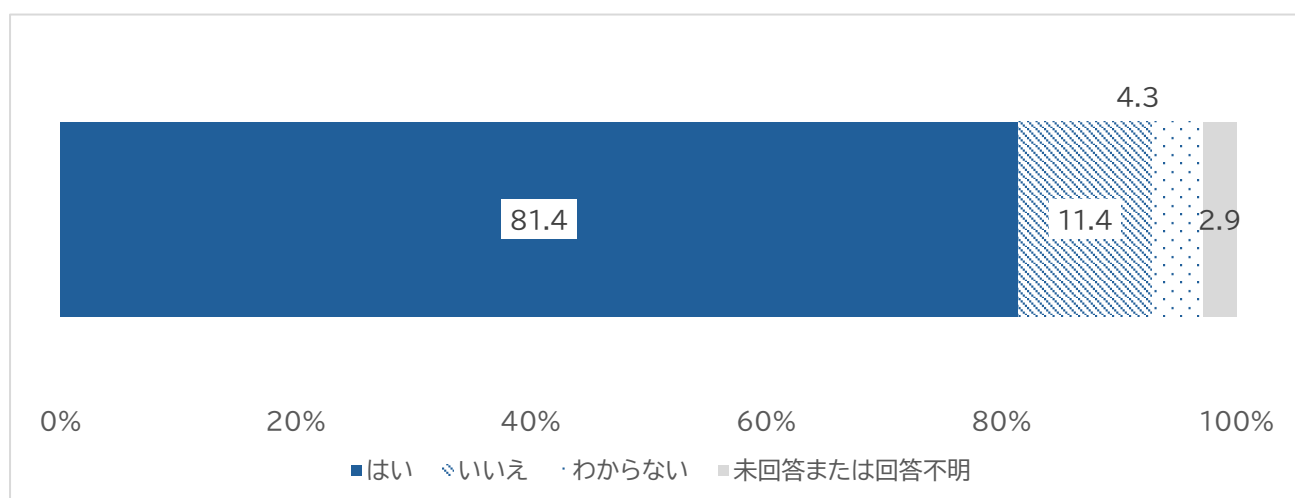
飼っている犬にしつけが必要と感じるかについては、「とても思う」が 47.1%,「どちらかといえばそう思う」が 31.4%,「どちらかといえばそう思わない」が 12.9%,「全く思わない」が 5.7%,「わからない」が1.4%,「未回答または回答不明」が 1.4%となっています。

Q9.飼っている犬の主な排泄場所はどこですか。(当てはまるものをすべて選択)(n=70)



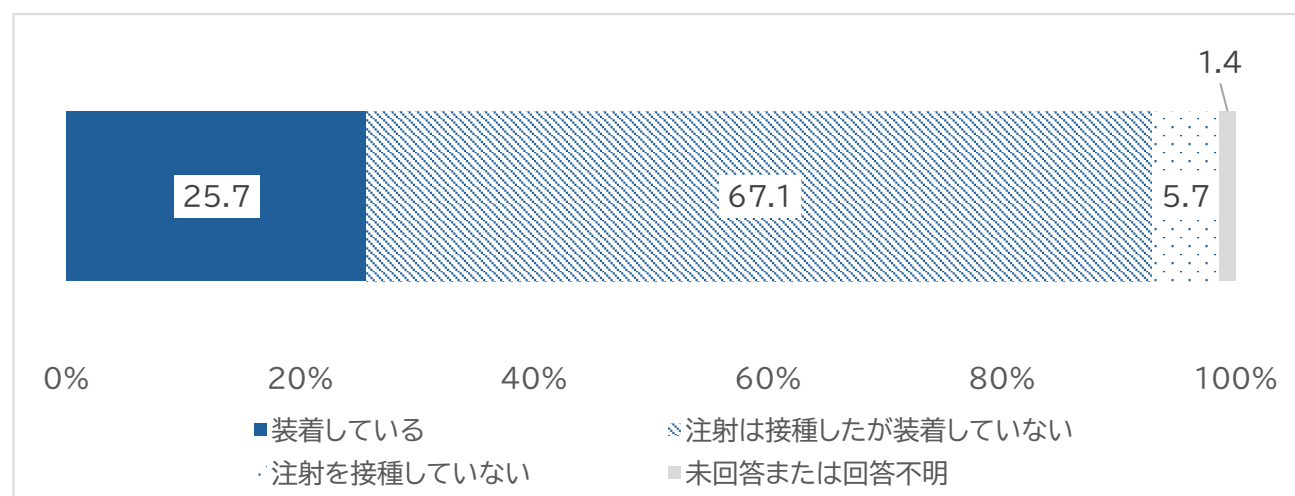
犬の主な排泄場所は「自宅」が 88.6%, 「公共の場」が 50%, 「ペット用おむつ」が 22.9%, 「その他」が 0%, 「未回答または回答不明」が 1.4%となっています。

Q10.飼っている犬を柏市に鑑札またはマイクロチップで登録をしていますか。(n=70)



飼っている犬の登録については, 登録していることを意味する「はい」が 81.4%, 登録していないことを意味する「いいえ」が 11.4%, 「わからない」が 4.3%, 「未回答または回答不明」が 2.9%となっています。

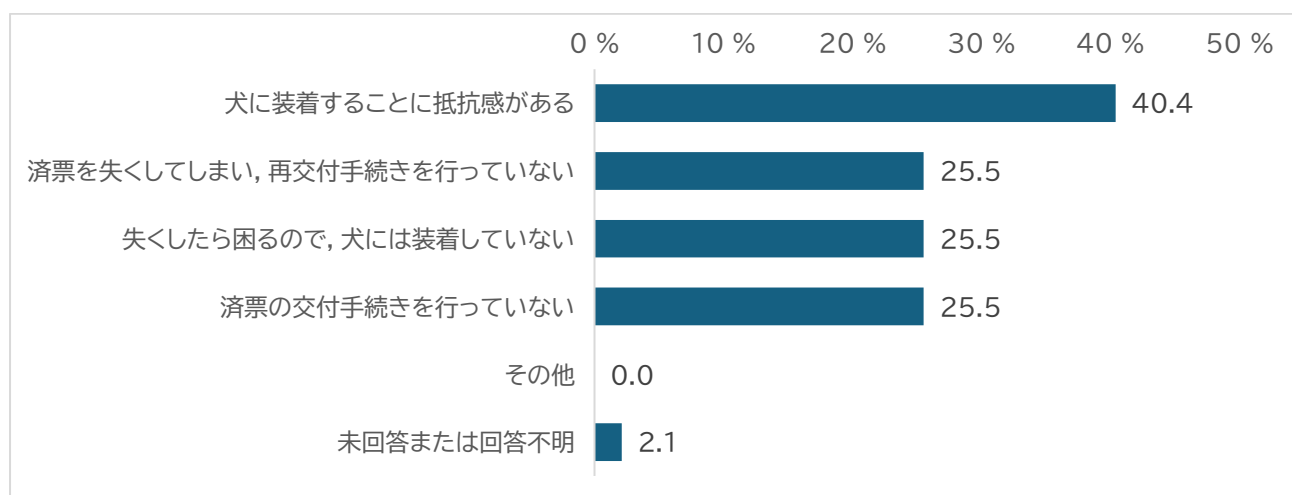
Q11.飼っている犬に当年度の狂犬病予防注射済票(以下、済票)を装着していますか。(n=70)



装着が義務となっている犬の当年度の狂犬病予防注射済票(以下、済票)の装着については、「装着している」が 25.7%,「注射は接種したが装着していない」が 67.1%,「注射を接種していない」が 5.7%,「未回答または回答不明」が 1.4%となっています。

【Q11 で「注射は接種したが装着していない」と答えた方への質問】

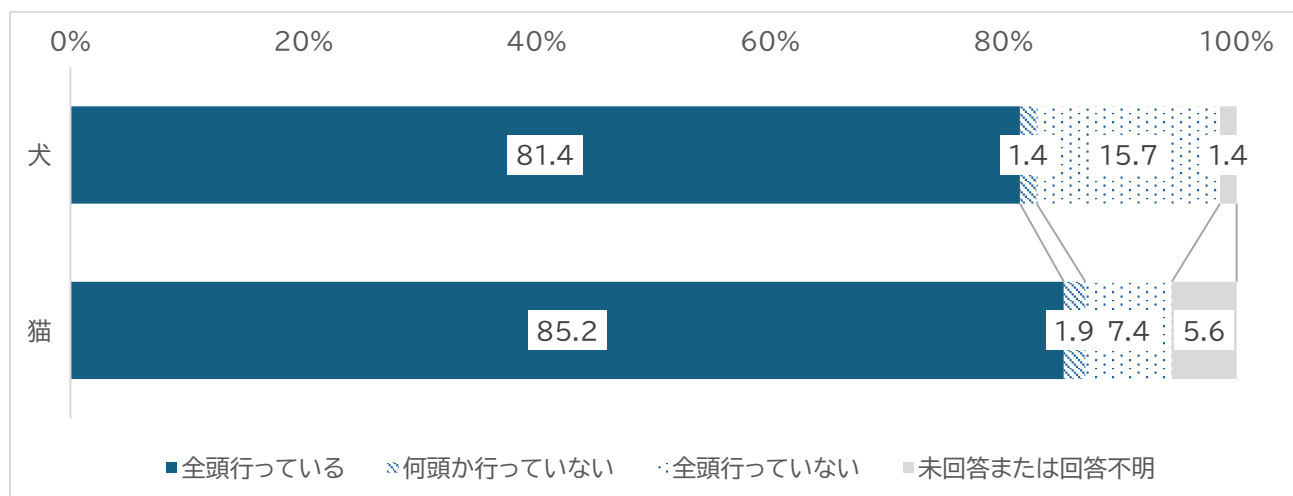
Q12.注射はしたが、装着していない理由はなんですか。(n=47)



当年度の狂犬病予防注射を接種したが、済票を装着していない理由については、「犬に装着することに抵抗感がある」が 40.4%,「済票を失くしてしまい、再交付手続きを行っていない」が 25.5%,「失くしたら困るので、犬には装着していない」が 25.5%, 済票の交付手続きを行っていないが 25.5%,「その他」は 0%,「未回答または回答不明」が 2.1%となっています。

■犬または猫を飼っている方への設問

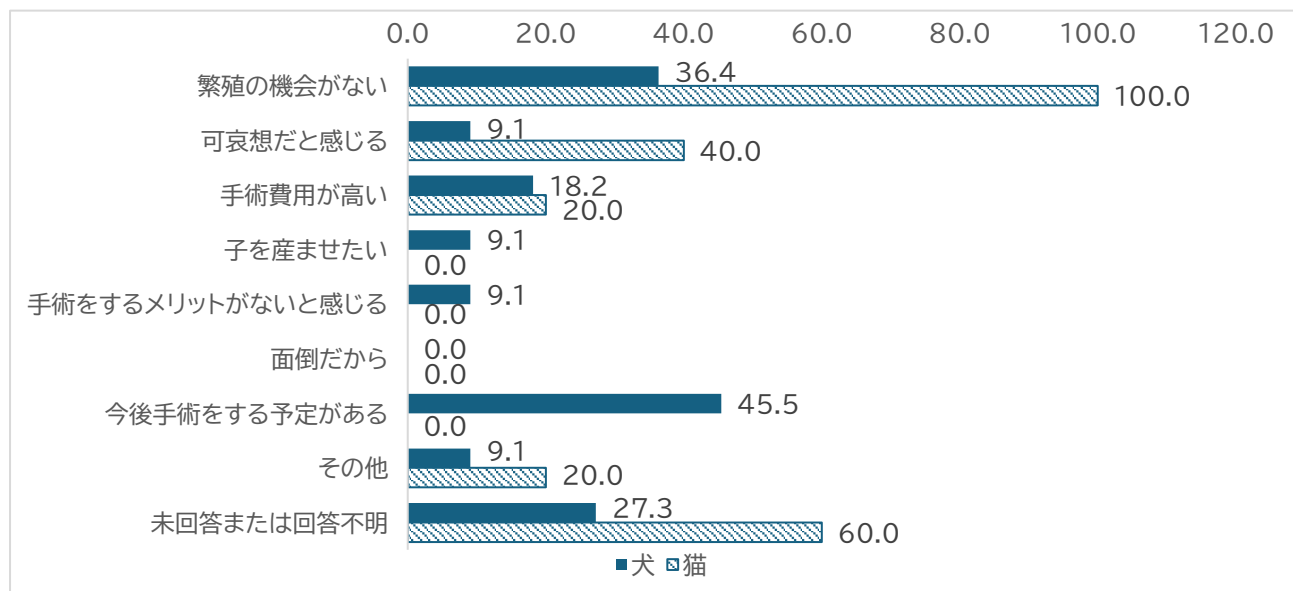
Q13.飼っている犬または猫に不妊去勢手術を行っていますか。(犬:n=70, 猫:n=54)



不妊去勢手術を行っているかどうかについては、「全頭行っている」が犬で 81.4%, 猫で 85.2%, 「何頭が行っていない」が犬で 1.4%, 猫で 1.9%, 「全頭行っていない」が犬で 15.7%, 猫で 7.4%, 「未回答または回答不明」が犬で 1.4%, 猫で 5.6%となっています。

【Q13で「何頭が行っていない」または「全頭行っていない」と答えた方への質問】

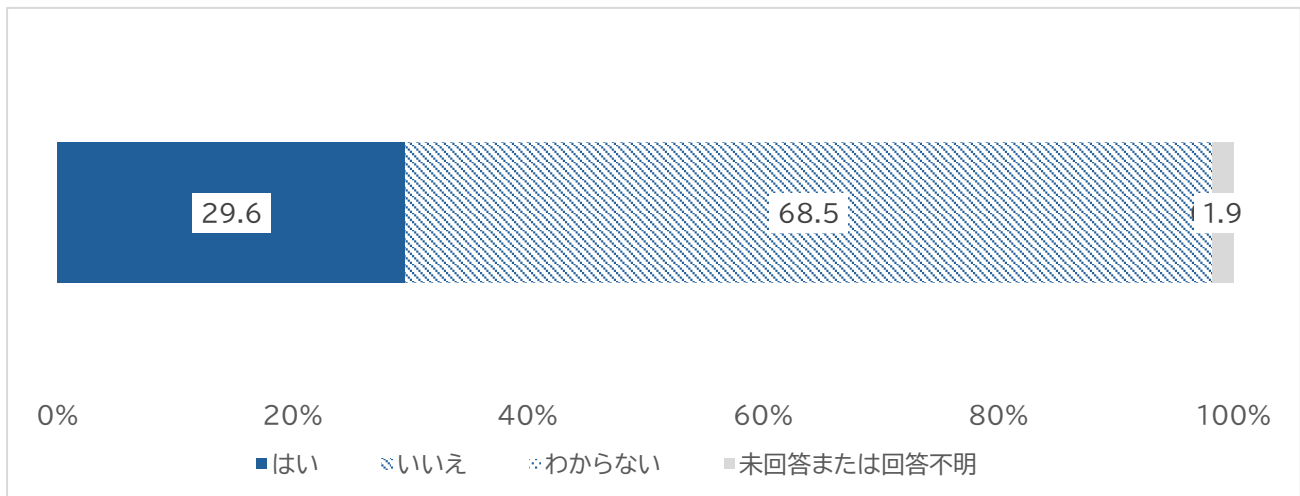
Q14.不妊去勢手術を行っていない理由はなんですか。(3つまで選択)(犬:n=11, 猫:n=5)



不妊去勢手術を行っていない理由としては「繁殖の機会がない」が犬で 36.4%, 猫で 100%, 「可哀想だと感じる」が犬で 9.1%, 猫で 40.0%, 「手術費用が高い」が犬で 18.2%, 猫で 20.0%, 「子を産ませたい」が犬で 9.1%, 猫で 0%, 「手術をするメリットがないと感じる」が犬で 9.1%, 猫で 0%, 「面倒だから」が犬猫ともに 0%, 「今後手術をする予定がある」が犬で 45.5%, 猫で 0%, 「その他」が犬で 9.1%, 猫で 20.0%, 「未回答または回答不明」が犬で 27.3%, 猫で 60.0%となっています。

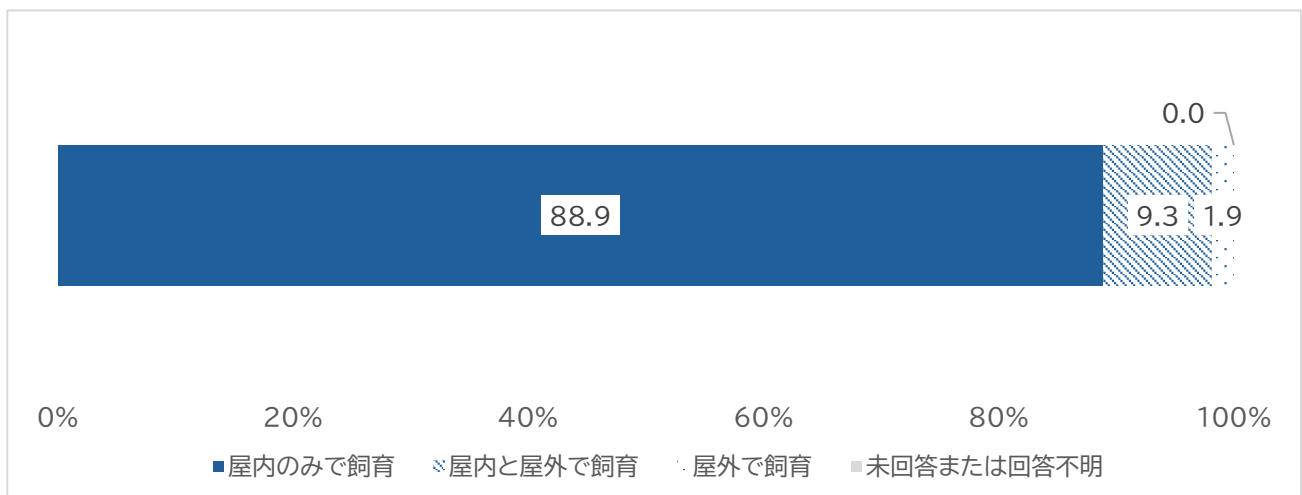
■猫を飼っている方への設問

Q15.飼っている猫にマイクロチップを装着していますか。(n=54)



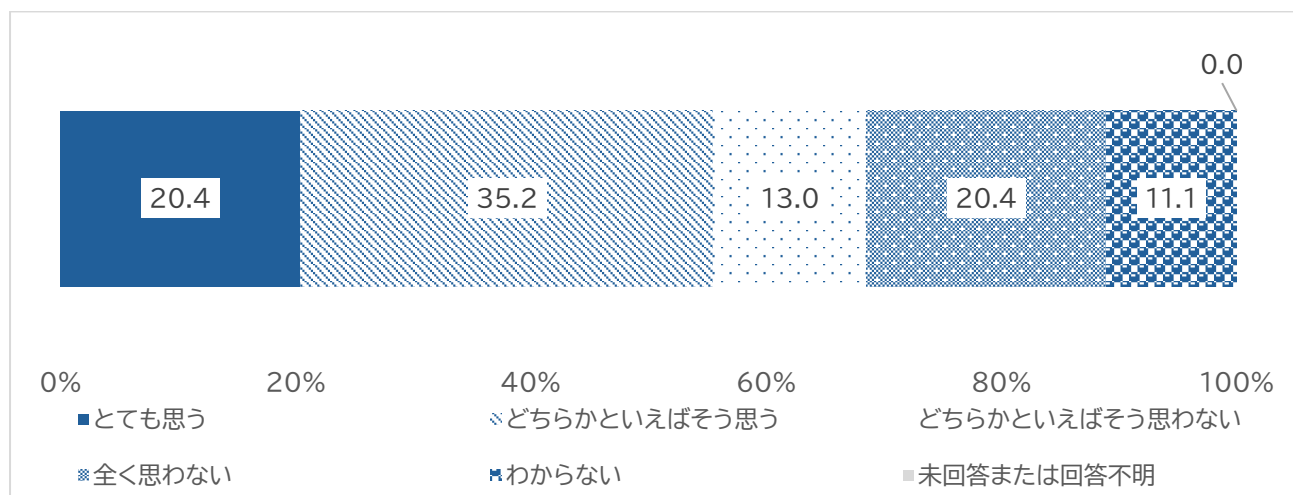
飼っている猫にマイクロチップを装着しているかどうかについては, 装着していることを意味する「はい」が 29.6%, 装着していないことを意味する「いいえ」が 68.5%, 「わからない」が0%, 「未回答または回答不明」が 1.9%となっています。

Q16.飼っている猫の飼育場所はどこですか。(n=54)



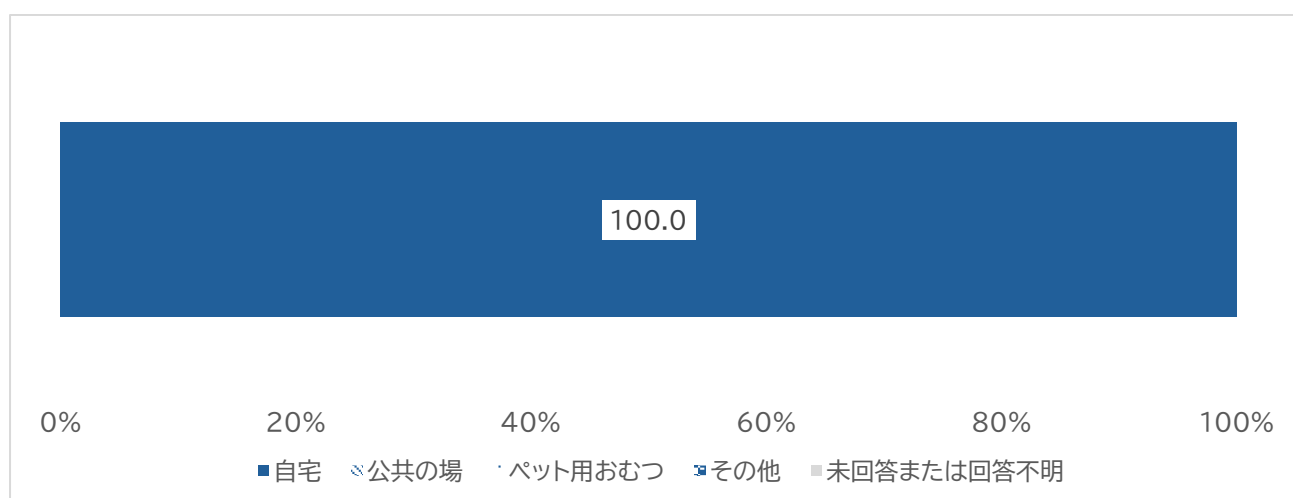
飼い猫の飼育場所としては, 「屋内のみで飼育」が 88.9%, 「屋内と屋外で飼育」が 9.3%, 「屋外で飼育」が 1.9%, 「未回答または回答不明」が 0%となっています。

Q17.飼っている猫のしつけが必要と感じますか。(n=54)



飼っている猫のしつけが必要と感じるかどうかについては、必要であると「とても思う」が 20.4%, 「どちらかといえばそう思う」が 35.2%, 「どちらかといえばそう思わない」が 13.0%, 「全く思わない」が 20.4%, 「わからない」が 11.1%, 「未回答または回答不明」が 0%となっています。

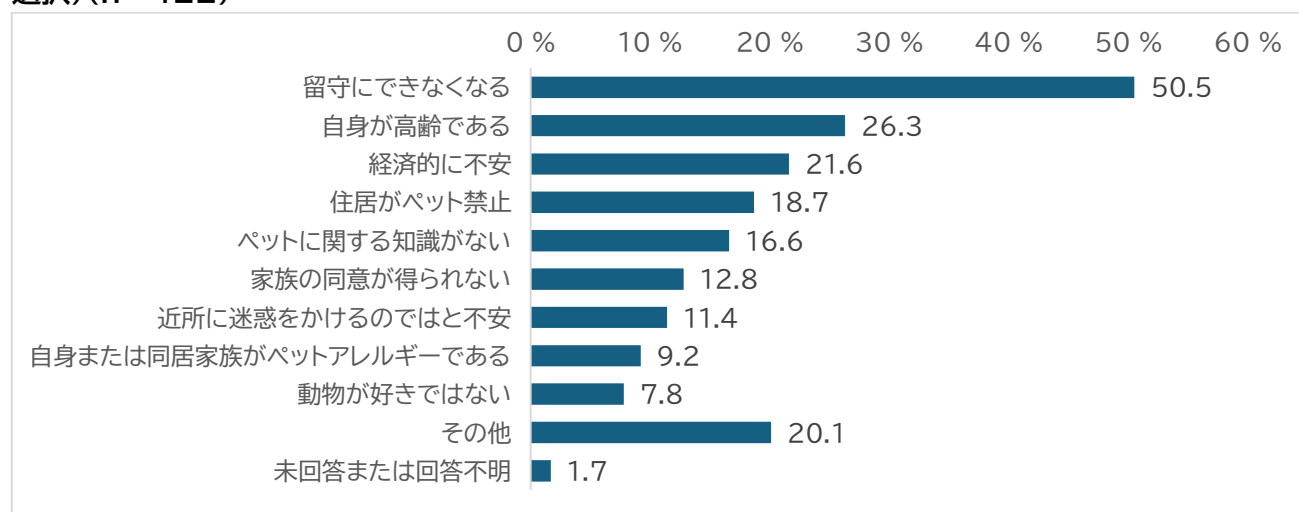
Q18.飼っている猫の主な排泄場所はどこですか。(当てはまるものをすべて選択)(n=54)



飼っている猫の主な排泄場所は「自宅」が 100%, 「公共の場」「ペット用おむつ」「その他」「未回答または回答不明」が全て 0%となっています。

■ペットを飼っていない方に対する設問

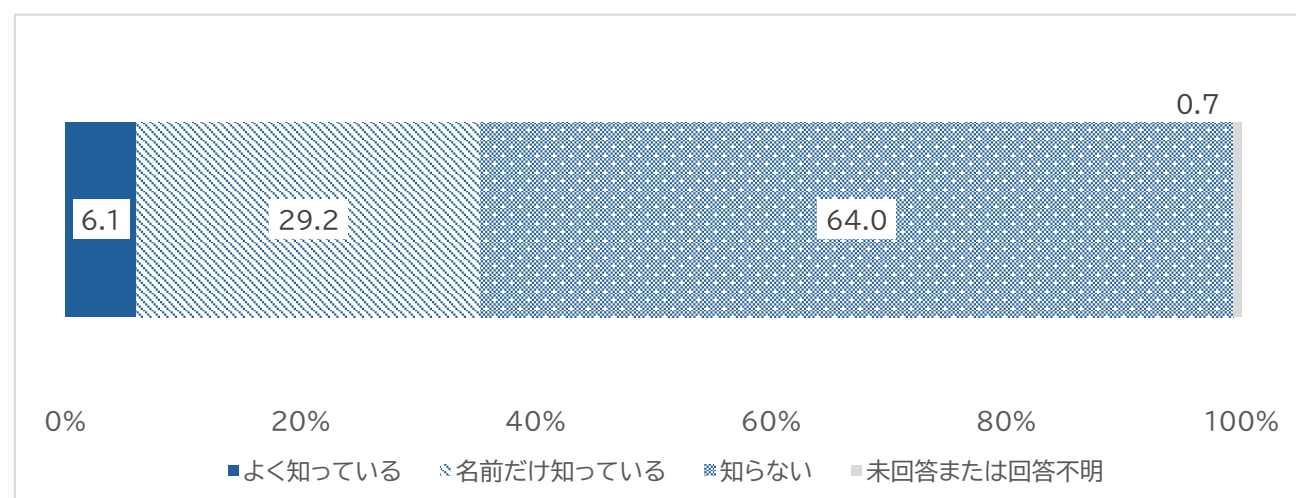
Q19.ペットを飼っていない・飼うことを諦めた理由はなんですか。(当てはまるものをすべて選択)(n=422)



ペットを飼っていない・飼うことを諦めた理由は、「留守にできなくなる」が 50.5%、「自身が高齢である」が 26.3%、「経済的に不安」が 21.6%、「住居がペット禁止」が 18.7%、「ペットに関する知識がない」が 16.6%、「家族の同意が得られない」が 12.8%、「近所に迷惑をかけるのではと不安」が 11.4%、「自身または同居家族がペットアレルギーである」が 9.2%、「動物が好きではない」が 7.8%、「その他」が 20.1%、「未回答または回答不明」が 1.7%となりました。「その他」の内訳としては、「飼っていたペットが亡くなった」等のペットロスを理由に挙げられるかたが多いほか、「世話をする自信がない」「子が小さいため」といった理由がありました。

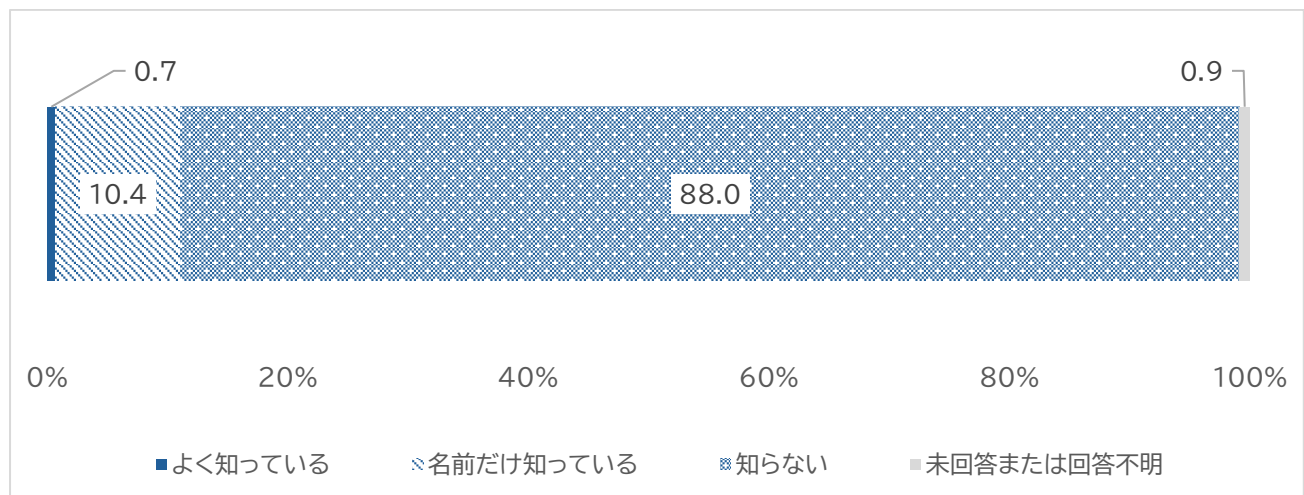
■皆様への設問

Q20.柏市動物愛護ふれあいセンターという施設を知っていますか。(n=575)



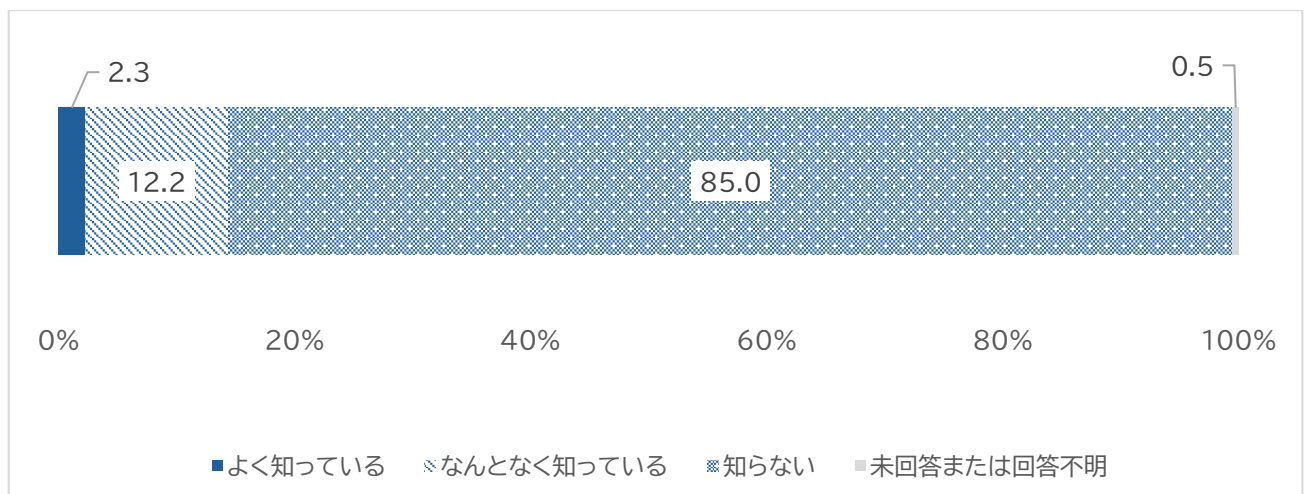
「よく知っている」が 6.1%、「名前だけ知っている」が 29.2%、「知らない」が 64.0%、「未回答または回答不明」が 0.7%となりました。

Q21. 柏市の地域猫活動登録制度を知っていますか。(n=575)



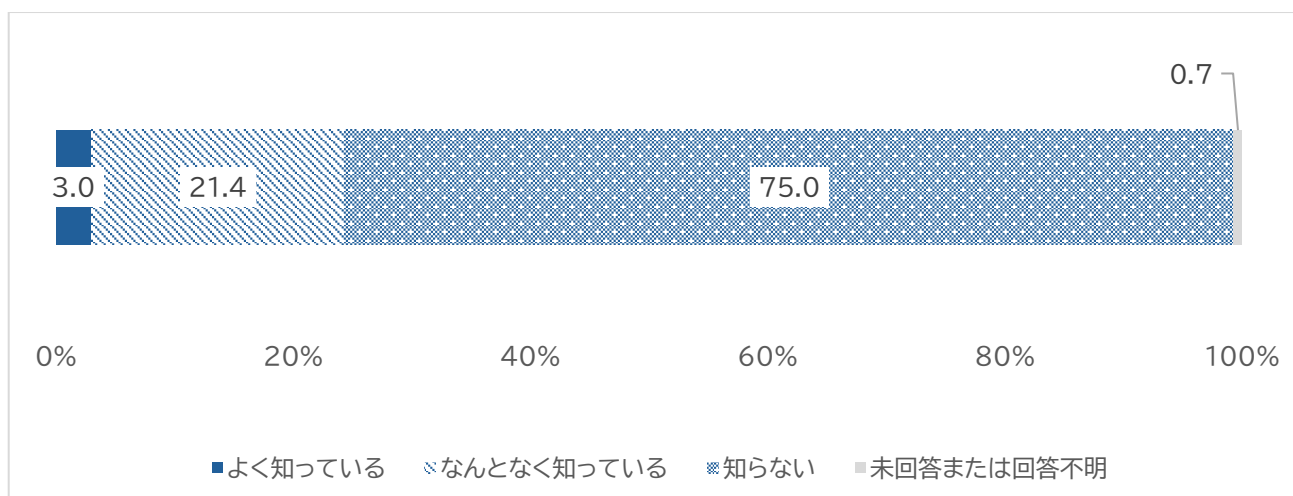
「よく知っている」が 0.7%, 「名前だけ知っている」が 10.4%, 「知らない」が 88.0%, 「未回答または回答不明」が 0.9%となりました。

Q22. 柏市が開設する市内全ての避難所にペットを連れて避難できることを知っていますか。(n=575)



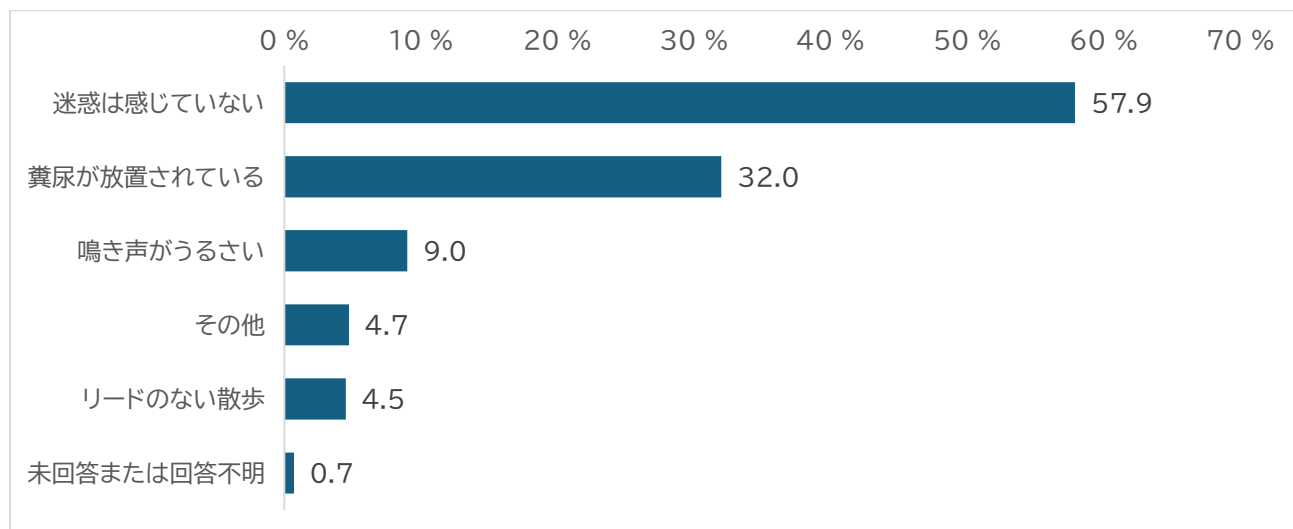
「よく知っている」が 2.3%, 「なんとなく知っている」が 12.2%, 「知らない」が 85.0%, 「未回答または回答不明」が 0.5%となりました。

Q23. 柏市が殺処分をしないように取り組んでいることを知っていますか。(n=575)



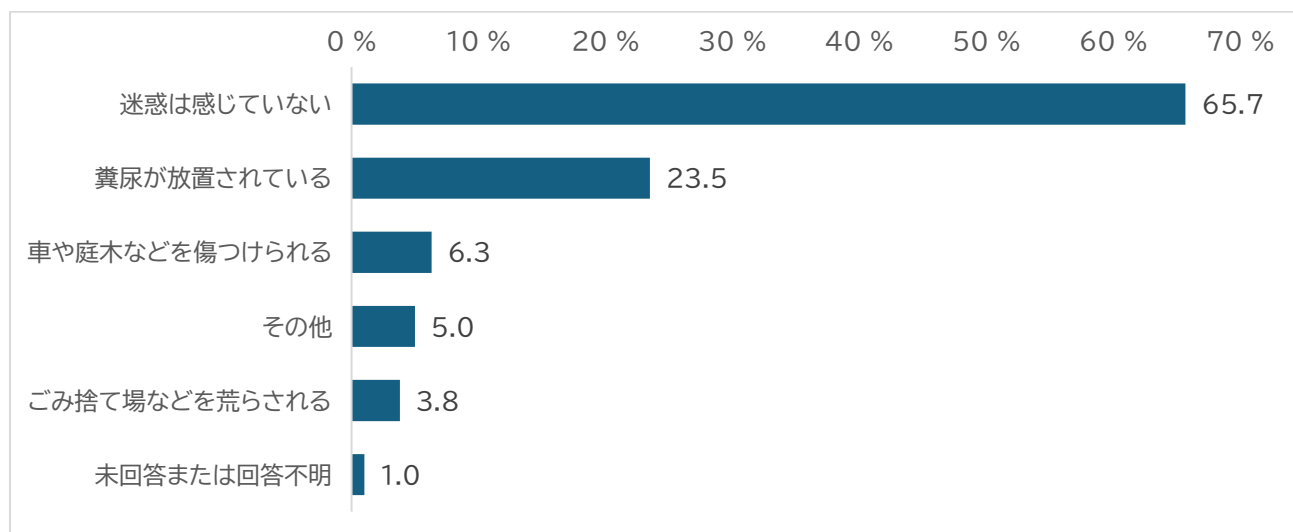
「よく知っている」が 3.0%, 「名前だけ知っている」が 21.4%, 「知らない」が 75.0%, 「未回答または回答不明」が 0.7%となりました。

Q24. 現在、あなたの身のまわりで「犬」による迷惑を感じていますか。(当てはまるものをすべて選択)(n=575)



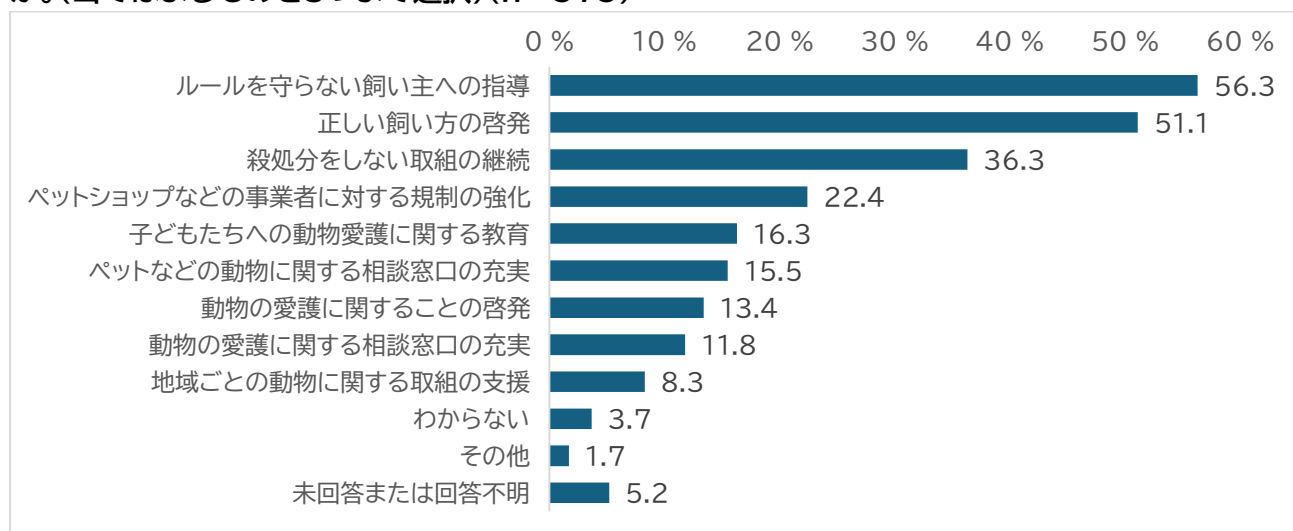
「迷惑は感じていない」が 57.9%, 「糞尿が放置されている」が 32.0%, 「鳴き声がうるさい」が 9.0%, 「リードのない散歩」が 4.5%, 「その他」が 4.7%, 「未回答または回答不明」が 0.7%となりました。「その他」としては「リードが長すぎる」、「歩道通行の妨げになる」といった回答がありました。

Q25.現在、あなたの身のまわりで「猫」による迷惑を感じていますか。(当てはまるものをすべて選択)(n=575)



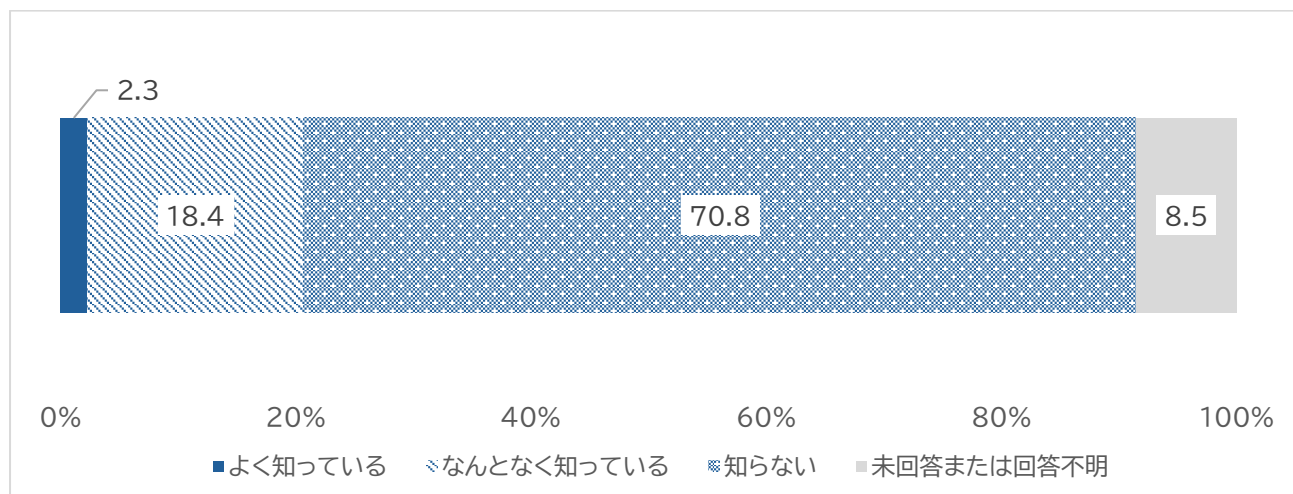
「迷惑は感じていない」が 65.7%,「糞尿が放置されている」が 23.5%,「車や庭木などを傷つけられる」が 6.3%,「ごみ捨て場などを荒らされる」が 3.8%,「その他」が 5.0,「未回答または回答不明」が 1.0%となりました。「その他」としては,「庭に勝手に入ってくる」,「鳴き声がうるさい」といった回答がありました。

Q26.人と動物が住みやすい柏市を目指すためにどんなことに取り組んでほしいと思いますか。(当てはまるものを3つまで選択)(n=575)



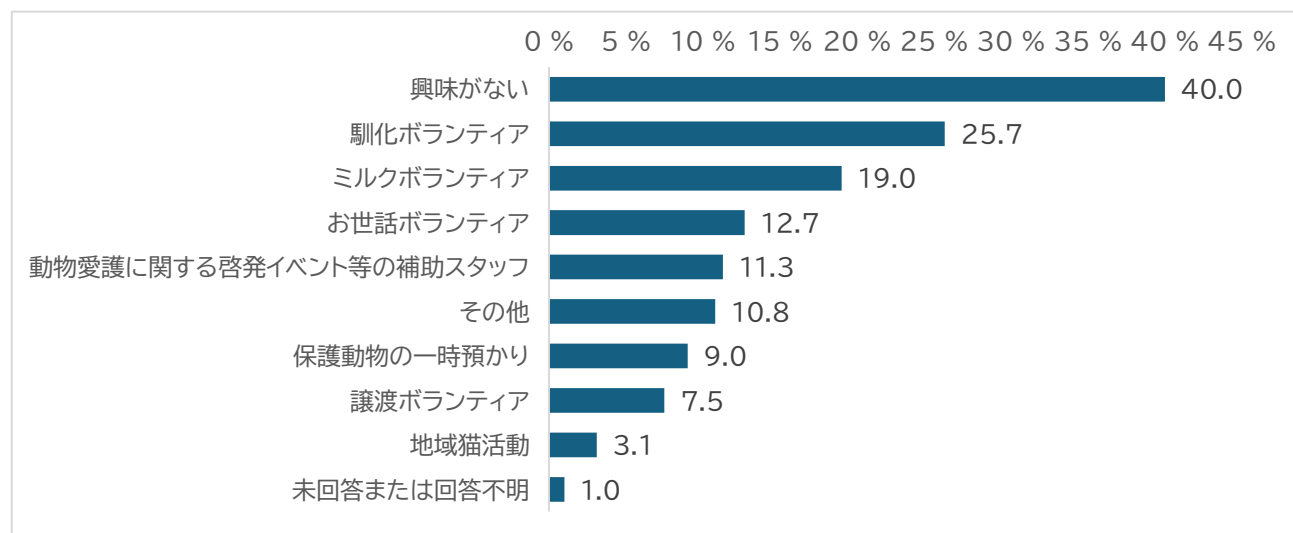
「ルールを守らない飼い主への指導」が 56.3%,「正しい飼い方の啓発」が 51.1%,「殺処分をしない取組の継続」が 36.3%,「ペットショップなどの事業者に対する規制の強化」が 22.4%,「子どもたちへの動物愛護に関する教育」が 16.3%,「ペットなどの動物に関する相談窓口の充実」が 15.5%,「動物の愛護に関することの啓発」が 13.4%,「動物の愛護に関する相談窓口の充実」が 11.8%,「地域ごとの動物に関する取組の支援」が 8.3%,「わからない」が 3.7%,「その他」が 1.7%,「未回答または回答不明」が 5.2%となりました。「その他」としては「飼い主への罰則」などの回答がありました。

Q27. 柏市の動物愛護に関する取り組みにボランティアが協力していることを知っていますか。(n=575)



「よく知っている」が 2.3%, 「なんとなく知っている」が 18.4%, 「知らない」が 70.8%, 「未回答または回答不明」が 8.5%となりました。

Q28. 柏市で実施しているボランティア活動の中でやってみたい動物に関するボランティア活動はありますか。(当てはまるものを3つまで選択)(n=575)



「興味がない」が 40.0%, 「馴化ボランティア」が 25.7%, 「ミルクボランティア」が 19.0%, 「お世話ボランティア」が 12.7%, 「動物愛護に関する啓発イベント等の補助スタッフ」が 11.3%, 「保護動物の一時預かり」が 9.0%, 「譲渡ボランティア」が 7.5%, 「地域猫活動」が 3.1%, 「その他」が 10.8%, 「未回答または回答不明」が 1.0%となりました。「その他」としては、「興味はあるが時間がない」、「出来る自信がない」、「年齢的にむずかしい」といった回答がありました。

3章 自由記入回答

本章では、調査票の自由記入欄に回答いただいた内容について御報告します。なお自由記入欄に記入された回答内容は、原則原文を掲載していますが、個人情報、公序良俗に反する内容、本アンケートの趣旨（人と動物の共生推進に関すること）に明らかに関係しない内容については除くとともに、読みやすさを重視し、誤字脱字等については修正しています。

1.自由記入欄の概要

回答状況

配布枚数	回収数	無効票	有効回答数 (a)	自由記入回答数 (b)	有効回収数に占める回答率 (%)(b/a)※小数点第二位以下は四捨五入
1,000	575	0	575	73	12.7

回答内容

- 我が家の2匹の猫ちゃんは保護団体の方から譲り受けました。これからも我が家の様に動物をお金で飼う事ではなく、家族を必要としている動物を迎え入れる人が増えて欲しいです。ボランティアを海外の高校の様に、カリキュラムに組み込むのはどうでしょうか？これからも動物との共生への取り組み頑張って下さい。
- マナーを守らない飼い主や、ペットからの被害の相談、窓口の充実。
- 動物園の廃止へ向けた運動を上げて欲しい。特に、野生動物を本来の住環境と異なる場所で飼育するのは無理。映像等で観察できれば十分。
- 動植物とは同じ生き物です。共存共生するのは当然です。幼少時、私の故郷の山には、猿が生存していました。祖父が竹やぶに小川を流し、隠して育てていました。現在、騒がしくなっている、熊、鹿、猪、だけでなく狐、狸とも共生しており、明治維新後の西洋化真似が間違っています。やっとな日本の食生活や風土が認め評価される様になりましたが、動物、自然と共存共生する施策が少ない。教育から考え直すべきで、それが各市町村の仕事です。頑張ってください。江戸時代すら「綱吉」が生類憐みの令」があり、学生時、馬鹿將軍と教えられた。皆様はどう思い、子供、孫に教えていますか。
- 日頃お世話になっております。マンションの1階に居住しておりますので、私自身はペットを飼っておりませんが、近所の方が散歩する姿(犬)をよく見かけ、尿やフンの後始末のマナーも皆さん気を付けているようですが、中にはフンをそのまま片づけず道路がよごれてたりします。
- 17年間犬を飼っていて子ども(特に末の子)の成長にとっても良い環境だったと思っています。自分より弱いものを慈しむ気持ちが育ちます。
- 犬など散歩しやすい道などの整備を行ってくれるとうれしい。公園にドックランがあったら飼い主同士の交流ももっと増えると思う。私の家は保護犬を飼っているので、保護犬などがもっと広まってくれたらうれしいし、助かる命がもっと増えていくことを願っています！
- 柏市立動物園を作してほしい。
- どちらかというと最近はペットを安易に飼っている人が多すぎなのではないか。やはり自分の年齢も考慮して飼うべきではないか。また散歩も長く綱を延ばして散歩する人が多いので考えてほしい。
- コロナの時保健所の方が預かってくれるため取りに来てくれましたが、猫3匹納戸に入って捕まえられず娘たちが餌と水を取り替えに何度か来てもらった。猫は捕まえないと思います。
- ペットは人の心を癒すぬくもりある命です。人間の都合によって勝手に命を奪ったり虐待したり出来るものではありません。人と同じ様に痛みがあり心を持っています。どうぞ柏市では大切に守ってください。
- ペット(犬)を飼っていないのでペットに関する柏市の取り組みは全く知りません。

- 動物愛護センターという団体その物を知りませんでした。これを機会に色々と勉強させてもらいたいと思います。動物愛護という観点からセンターの発展を願いつつ、これにて失礼致します。
- 過去にモルモットや金魚を飼っていた時期もありましたが、現在はありません。
- 猫を亡くし寂しいですが、自分の歳を考えて飼うわけにはいきません。
- 殺処分を行わない取組み、大変素晴らしいと思います。様々な課題があり、致し方ないこともたくさんあると思いますが、今後も取組みを続けていただきたいです。ありがとうございます。
- 私は柏市に30年以上住んでいますが、自身がペットを飼っていないこともあると思いますが、今回こちらのアンケートで初めて柏市が動物愛護に力を入れていることを知りました。ペットに関してですが、お散歩をしている犬を見てもきちんと飼育されていると感じます。家の植物に尿をされることがあるのは少し気になりますが…。また、ペットを飼っていないのでYOUTUBEで動物の動画を見て楽しんでいます。とやまソフトセンターの狂犬病予防注射会場のドタバタ劇が好きでよく見ています。柏市でもこのような動画を作っていただければぜひ視聴したいと思います。
- 子供の頃、野良犬が沢山おり、追いかけられた為、それから動物が苦手になりました。自分の子供には動物好きになってもらいたいのので、動物の為に頑張って活動してくれている方達がいる事を教えてあげたいと思います。
- 我が家でも犬を飼っていたのですが、死んでしまいました。自分の犬は、本当にかわかったです。これからも犬や動物も安心して生きていけますように…。
- ウサギを4匹飼った事がありますが、ウサギをあずかってくれる所がないので旅行も行けないし、仕事をしながらの介護が大変だったので、,, 本当はまだ飼いたくなる気持ちもありますが最後まで看取る責任を考えるとウサギは10年くらい生きるのので,, 自分達の事からしても、軽く考えてはいけないとの事から、今は動物をいっさい飼わない事にしました。これからは自分達の介護や老後を考えなくてはならない年なので。
- 私の住んでいるアパートのオーナーさんは、大型犬を多頭飼いされていて、今どきは、アパートでもペット可にする必要ありという考え方で…私も娘が、小さい頃から、14年飼いました。現在、小学3年生の孫もそのワンちゃんに5歳まで、触れ合っていました。子供とペットは、相性いいです。ステキな活動、応援してます。
- 犬が好きで子供の頃から何頭も飼いましたが、高齢になったため犬の寿命を考えあわせ新しく飼うことを断念しました。期間限定のような飼い方ができればと、自分勝手な考えをしてしまいます。ペットがないせいもあり、このアンケートをみるまで動物愛護の施設や諸制度があるのを知りませんでした。だいぶ改善、進歩されているように感じられました。
- 犬の散歩のときに道路では車の走行を妨げないように注意してほしい。いつ飛び出してくるか心配な時がある。自分の足元に引き寄せてくれる方もいらしてうれしくなる。動物が好きな人ばかりではないことも理解していただきたい。
- 犬・ネコが大好きです。近所でも散歩をしている人を良くみかけます。人も動物も住みやすい世の中であってほしいと思います。
- エサという表現はいかなものかと思いました。私達にとって、大切な家族の一員です。お役所的な考え方ですか？動物愛護とは思えないなと思います。
- 動物との共生は町の衛生にも関係してくると思います。正しい飼い方や町としてのルールが守られていれば問題ないですし、私が住んでいる地域はどの方もきちんとされているのでとても住みやすいです。ありがたく思っています。これからもモラルやルールが守られますように。
- 愛護というよりは、ペットを飼う際に責任を持って飼うように義務付け、誰のペットかわかるようにチップをうめこむなどしたらよい。放棄したら処罰する。野良猫にえ付けはしない。本当に迷惑。避難所ではペットのいる人といない人は完全にわけてほしい。ペット嫌いの者にとってはストレスであるし不衛生である。
- 頭が下がります。皆さんのお役に立てませんが、せめて我が家のワンコたちをしっかりと守り、ご近所様と仲良く暮らせるよう努めます！

- 特に猫に困っています。自由に行ききしてふん尿もされている。えさだけあげてあとは外でのばなし状態 猫に罪はなく、飼っている人に原因はあると思いますが、近所だと言にくい部分です。できれば飼うことに責任を持つために登録制にするなど、かわいいだけで飼うことはやめて頂きたいです。
- 犬猫は言葉を発することができないため、人間社会では、どうしても行政の介入なくして共生は難しく存じます。この活動に関わるボランティア、NPO その他関係する方々が活動しやすい社会であるよう切に願っております。
- 今回のアンケートを通じて柏市の取組について理解を深めることができました。今後、機会がありましたら、ボランティア等への参加について検討させていただきたいと思います。
- 動物愛護活動が積極的に行われているとは思っていません。飼育されている世帯の割合、傾向(増減)など含めて広く広報し、無関心の方々を減らす活動など基本的な事も定期的に行われたらいいかですか。また害獣化した動物は最終的に殺処分せざるをえないと思っていますが、それに対する活動も合わせて教えてください。
- 動物は好きだが無責任な飼い方をしている飼い主が多く迷惑に感じてしまうことがある。ペットの購入時には正しい飼い方の指導や誓約書を書いていただくなども必要だと思っています。お年寄りが自転車に乗ったまま犬を散歩させ車の前にフラフラと出てきてしまうなどの場面も見られるので気になっています。
- 私が飼っていた犬は柏市の指導をちゃんと受けましたし、かかさず予防接種もしていました。この名犬に19年いっしょでしたので思い出がすばらしく忘れられません。様々の所へいっしょに旅もしました。なつかしい思い出ばかりです。二匹ともお葬式を行って、こつつぼは今も居間においています。
- 犬も猫もかわいい。戸建てに引っ越してきて、犬のふんを家の庭に放置して行かれる事が何回もあり、飼い主のマナーの悪さに嫌になった。飼い犬のふんの始末もできない人と散歩であいさつしたりするのは嫌なので、やっぱり関わらないようにしたい。お酢まいたりいろいろなきゃいけなの不満。
- 散歩していると通学路に犬のフンが始末されていない時がある。子供たちが踏まないように道の端によける時がある。飼い主さんはマナーを守って欲しいものである。
- 飼っていた犬を思い出しました。会いたいなと感じました。
- 私のうちに毎日のようにエサを食べにくる野良猫がいますが、どなたか飼ってあげてくれないかと思っています。何か名案はありますか。
- 動物は飼いたいと思う気持ちはあります。ただ、病気になったり亡くなってしまった時の気持ち全てを受け入れられるか？と思うと決断が出来ずにいますが、今後飼いたいな…。と思っはいます。自分の気持ち、仕事もしているので淋しい思いをしなくなったら…。と思います。飼う以上は簡単な気持ちではいけないんだろうと思っています。殺処分などはない生活が日本でも世界でもしていけたらいいと思っています。
- ミルクボランティアに興味があります。
- ペットは家族そのものです。私の場合は犬ですが。最期までしあわせに過ごさせてあげなければいけません。
- 外で猫はほとんど見ません。犬はたくさん散歩されています。旧水戸街道の細い歩道で散歩しなくてはいけないので、こちらを気を使うし、すれ違う方にも気を使いながらの散歩です。公園も何か所かありますが、あまり使われていない様で、どれか1つでもドックランとして使えたらいいと思います。柏の葉ドックランにも登録した事がありますが、遠いので通いきれず辞めました。松戸でやってるわんわんパトロール的なものを柏でも行っても良いのでは？と思います。
- 子供時代は田舎で過ごしたので家畜として牛馬が飼われていましたし、犬猫はいつも一緒に暮らしていましたが都会で生活するようになると住宅の関係もあり、小鳥やきんぎょ等を飼っていた時代でした。子供が家を出て行き淋しさのあまりもともと猫が大好きでしたので地域猫を飼っ

ていました。20年近く生きましたが70歳過ぎていましたので飼うことをあきらめペットロスになり大変でした。今は近所の友人の犬に癒されています。

- ペットの販売禁止, ペット＝家族と同様の考え。
- 電柱の素材？もしくは糞尿をされる範囲に犬, 猫が近寄りたがらない物で作るとか・・・そんな素材があれば良いと思いませんか？
- 動物愛護もほどほどに！いきすぎていると思う事がある。(特にクマ, イノシシ, キョン。一度良い目をした動物は再び繰返す。)
- 家族 4 人とペットと共に過ごした日々を思い出して胸が熱くなりました。
- 保護活動よりペットショップでの購買をなくした方が, 殺処分が減ると思います。
- ドッグラン等を増やし気軽に相談が出来る人を増やせたらいい(民間ドッグランはしきいが高い)。
- 柏市に動物愛護ふれあいセンターという施設を知りませんでした。殺処分0にする取り組みは素晴らしいと思う一方で, 住んでいる地区ではペットの糞尿が散見されるなど, ルールの徹底も必要かと思えます。
- 柏市が殺処分をしない取り組みをしているのを知りませんでした。これからも継続してってください。どうかよろしくお願いします。
- インスタで保護猫のボランティア活動をされている方々の発信をよく見ますが, 動物が生活する上で必要な物の寄付を呼びかけていらっしゃる。市ではそのような事をされておりますでしょうか。力になりたいと思う方はたくさんいらっしゃると思うので, 市民の意識向上にもなると思いますので, 小さな事から呼びかけてみて欲しいです。保護した動物の感染予防の為に牛乳パックのお皿(パックの底2～3cmを切り取り, 使い捨てで使用)や, 餌やトイレ用具など, 職員さんが大変になり面倒かもしれませんが, こういうものの募集などで助かることがあれば力を貸して下さる方はたくさんいらっしゃると思います。アンケートの主旨と違う内容でしたらすみません。動物愛護の取り組みには感謝申し上げます。
- ペットショップで生体売るのはもうやめたほうが良いと思っている。今度飼う時は保護動物にしようと思う。テレビなどで保護された動物を見るのはとても辛い為です。捨てられても尚, 前の飼い主を待っているのだと思うと不憫でならないのです。犬ほど人間の役に立つ動物はいないのに, 人間が裏切っているのです。ペットショップで生体売るのは本当にやめてほしい。衝動買いを防いで生き物を裏切らない為に切に願っています。生き物は飼い主を選ばませんから。
- 動物愛護活動はとても素晴らしいと思います。ですが, そもそもの動物の保護まで至らないよう飼育の在り方や考え方など, 正しい知識や家族となる責任の持ち方など, 飼い主教育が必要に感じます。実際指導される場もあるとは思いますが, 参加しやすい取り組みを頂けることを期待しております。また災害時の避難については, 動物にも性格があり日頃の様子から我が家の故愛犬は他の犬との関わりにストレスを感じると思われ避難所へ連れて行く事は到底無理だったと思いました。
- 犬, 猫を飼えば情操教育になるかとは思いつつ, 自分に世話をする余裕がなく飼えない。もっと気持ちや生活に余裕があればいっしょに住んでみたいが, 手一杯。近所には野良猫？がいて, フンなどに悩むこともある。自分が愛着をもって飼っていなければ, 動物のことを身近に考えられないし, 取組みにも気付かなかった。動物が大変だなと感じた時, 頼れるサービスがあれば手放す機会も減る。購入, 譲渡の際に, サービスをよく伝えること, 必要と思った時に情報を得られるとよいと思う。
- 殺処分ゼロを継続されていること, 本当に素晴らしいと思います。行政の方々, ボランティアのみなさんに感謝しています。私は結婚前は横浜市に住んでいました。そこで近所のノラネコに出会ったことで「正しいネコの飼い方」(屋内で飼う, 不妊去勢手術, 地域ネコ etc)を知りました。ノラネコのままでは危険がたくさんあることを知り, 家ネコとしてむかえ実家では8頭のネコと暮らしてきました。不幸なネコや動物がいなくなるには正しい飼い方を「知る」ことだと実感しています。(大人の外ネコでも, ちゃんと家ネコになれるですね。子ネコじゃなくても大丈夫ですね)

- 以前は犬を飼っており犬は好きですが、旅行に行けないこと、何よりペットロスが辛すぎて、動物に関わることはしたくありません。
- 知り合いに保護犬を飼っている方がいますが、犬もとても喜んで散歩をしています。飼い主の行き先を確認しながら歩調を合わせて歩いている姿はとても微笑ましいです。散歩中に会うと近寄ってくれるので、つい声をかけてしまいます。
- 保護動物は犬猫だけなのか？野にいる猫とたぬきは何がちがうのか。猫は保護し、たぬきは病気を持っているから、危ないから保護してはダメというのはおかしいと思う。のら猫もたぬきも同じような生活をしているのになぜ助けてあげないのだろうか。のら猫だって病気を持っているし、虫だっている。なのに病院でみてもらい、保護され、ごはんをもらえる。森がなくなり、住宅街で生活をしなければならなくなったたぬきは、住むところもなく、おいしいご飯も食べれず、水さえ飲めない。人が勝手に捨て、増えた犬猫だけに保護の手が届き、森を追われたたぬきは、行くところがなく、車にひかれ、片すみで生きている。森がなくなっているのに、住むところ、食べものもないのに、”鳥獣保護法があるから”というのはおかしいのではないですか。すべての命に平等であるべきだし。
- 動物が好きでも私のようにアレルギーがある方がいると思います。町に放置される動物がいなくなるよう活動を頑張って下さい。
- 犬や猫が起こす問題の原因は必要な知識を持たず準備をしなかった人間だと思うから、人に働きかける取組みが動物愛護には不可欠だと思った。
- 前問で記述の通り再び家族になることを躊躇している。でも動物番組などを見るとまた飼いたい！とも思う。保護犬の存在を知り興味はあるが(馴化ボランティア)、離れる時の寂しさを考えるとやはり躊躇してしまう。勝手な思いではあるけれど、情がうつってしまわないくらいの関りができるボランティアがあると良いなあと思う。
- 公園で猫にエサを与えている方を見かけます(ボランティアの方ではなく一般の方のように見受けられます)。その方がネコにエサを持ってくると猫だけではなくカラスもたくさん集まってきます。我が家は1歳と3歳の子供がいて公園でよく遊んでいます。猫にエサを持ってくる人が来たら帰るようになりました。(子どもがカラスを怖がるため)上記のような方への正しい指導を繰り返しお願いしたいです。よろしくお願いします。
- 僕はワンちゃんネコちゃん動物ちゃんみんな大好きです。ワンちゃんネコちゃんなどを保護して飼いたいのはやまやまなんですけど、やはりそこにはお金がかかる。そこにかかる費用をあなた方が負担してくれるならいくらでも保護して育てます。全犬生猫生動物生に幸あれ!!!
LOVE&PEACE♡

発行年月：令和8年6月発行

編集：柏市動物愛護ふれあいセンター

〒277-0924千葉県柏市風早二丁目4番地3

☎04-7190-2828